

# 行事おしらせ

いずれも参加無料、申し込み不要



## 第15回 サイエンス・フォーラムinさっぽろ

### さっぽろのそらを読む

### めざせ！おてんき博士ー夏休みお天気教室ー

7月21日(土) 14:00~16:00 開場13:30

お話し&実験：加藤眞奈美さん（日本気象協会札幌支社、気象予報士）  
札幌管区气象台スタッフのみなさん

会場：札幌市中央図書館3階講堂（札幌市中央区南22条西13丁目1-1）

対象：小学生～一般

定員：なし（イス150席）

※公共交通機関でお越しください。

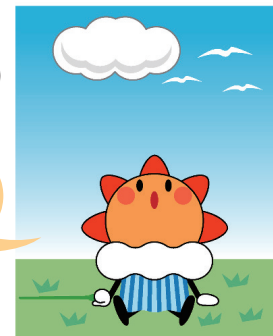
市電「中央図書館前」下車徒歩1分。

じょうてつバス「南21条西11丁目」降車徒歩5分。

主催：サイエンス・コンソーシアム札幌

（札幌市博物館活動センター・札幌市中央図書館・札幌科学談話会）

竜巻をつくる  
実験もやるよ！



気象庁マスコットキャラクター「はれるん」

## 科学絵本よみきかせ&学芸員の井戸端サイエンス

### ●7月21日(土) テーマ【体の中のエンジン】

絵本タイトル：いわしくん、からだのなかでドウンドウン、スモウマン

### ●8月18日(土) テーマ【雲】

絵本タイトル：くも、あめじょあじょあ、もくもくやかん

### ●9月29日(土) テーマ【地球の中を見る方法】

絵本タイトル：うえにはなあにしたにはなあに、地球をほる、  
じめんのうえとじめんのした

申し込み不要  
無料

大人の方も  
お気軽に  
どうぞ！

ベビーカー  
で入れます。  
おむつシート  
あります。

時間：いずれも14時～14時30分

会場：札幌市博物館活動センター展示室内

対象：乳幼児～大人

読み手：科学絵本よみきかせの会・じゅごん太



★これまでの絵本、井戸端サイエンスの内容はブログを見てね。  
ブログ「じゅごん太よみきかせ横丁」  
<http://blog.goo.ne.jp/takahashihotate>

# 募集中

いずれも参加無料、多数時抽選

## 体験学習会「昆虫採集会」

※活動センター集合解散。バスで往復。

7月28日(土) 9:00~16:00

会場：午前 南区定山溪百松沢林道、午後 札幌市博物館活動センター実習室

講師：札幌昆虫自然史研究会のみなさん

対象：小学4年~中学生 (小学生は保護者同伴)

募集期間：7月1日~7月16日(月) 必着。

定員  
40名



## 体験学習会「地史見学会」

※活動センター集合解散。バスで往復。

8月11日(土) 9:00~16:00 ※増水時は化石採取中止。

会場：南区小金湯、砥山、藻南公園、石山緑地、中央区知事公館をまわる。

講師：古沢 仁 (当センター学芸員)

対象：小学4年生~大人。(小学生は保護者同伴)

募集期間：7月1日~7月23日(月) 必着。

定員  
40名

## 体験学習会「化石研究体験教室」

8月4日(土) 13:30~16:00

会場：札幌市博物館活動センター講義室・実習室

講師：札幌自然史研究会のみなさん

対象：小学4年~中学生

募集期間：7月1日~7月20日(金) 必着。

※保護者同席の必要ございません。

定員  
20名

### 申し込み方法

行事名、住所、参加する全員の氏名、年齢、電話番号を記入して博物館活動センターに電話、来館、またはハガキ、FAX、メールでお申し込みください。多数時抽選。

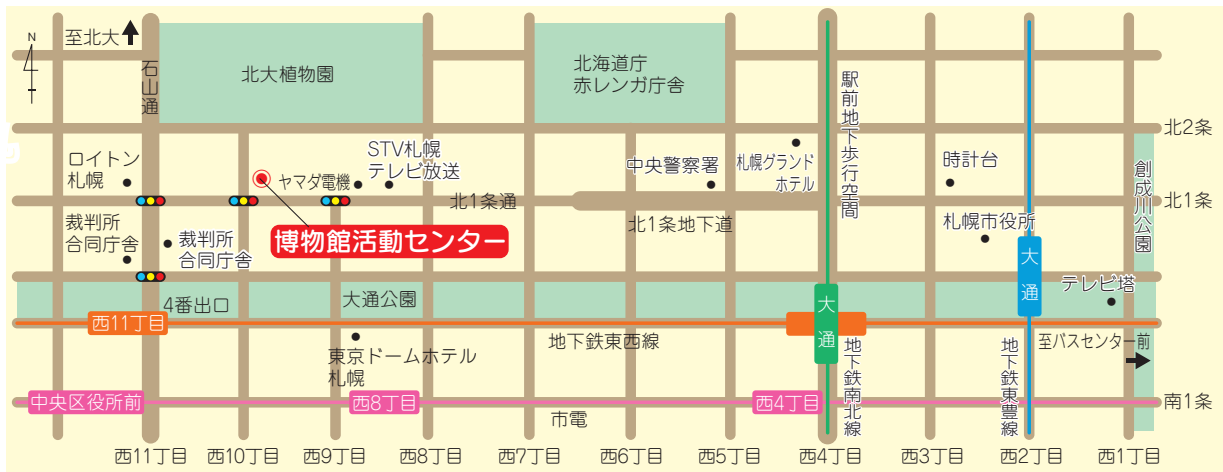
## 札幌市博物館活動センターご案内

ホームページ<http://www.city.sapporo.jp/museum/>

【開館時間】10時~17時 【入館料】無料 【休館日】日・月曜日、祝日、年末年始(12/29~1/3)

【住所】〒060-0001 札幌市中央区北1条西9丁目 リンケージプラザ5階

【電話】011-200-5002 【FAX】011-200-5003 【E-mail】museum@city.sapporo.jp



### ■公共交通機関をご利用ください。

<地下鉄>東西線西11丁目駅4番出口徒歩5分。

<市電>西8丁目または中央区役所前電停徒歩8分。

<バス>北1条西7丁目バス停徒歩3分。

### ■札幌駅前地下歩行空間を大通方向に向かい、

北1条地下道へ右折し、最も西側の出口(右手)から地上へ出て、そのままヤマダ電機の方へ直進、徒歩約5分。(合計徒歩約15分)

## 編集後記

累計来館者数 **79,827** 人 (2012年5月末現在)

石狩市と小樽市との共催行事の下見のため、各市から昆虫、地質・漂着物、植物の学芸員が集まって一緒にフィールドを歩く機会がありました。その時のランチタイムの話題になったのが、ヒメギフチョウです。自分とちがう専門分野の方々と現場を歩くのは、とても勉強になります！原稿作成にあたり、昆虫標本寄贈者の一人である北村氏にお話を聞きました。ありがとうございました。(ま)



ミュースレターは、100%再生紙および大豆油インクを使用しています。